

第6次川島町総合振興計画

実施計画

第6次川島町総合振興計画 前期基本計画 代表事業

[令和5（2023）年度～令和7（2025）年度]

令和4年12月

川島町

1 第6次川島町総合振興計画における実施計画について

総合振興計画は、まちづくりの柱として町の最上位計画に位置付けられており、町の将来像や基本理念、将来像を実現するための戦略目標などを体系化し、その取組の指針を示すものです。

総合振興計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されており、計画書に掲載している基本構想及び基本計画を具体化するための取組を、「実施計画」に取りまとめています。

(1) 基本構想

令和3(2021)年度から12(2030)年度までの10年間を展望し、まちづくりの方向性や将来像を示すものです。

基本構想では、基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づく政策の達成状況を検証する指標として、まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」を設定しています。

(2) 基本計画

基本構想の計画期間を前半5年間と後半5年間に分け、それぞれの期間で将来像の実現に向けた各施策の方向性、目標等を示すものです。

基本計画では、戦略目標ごとに評価指標、施策ごとにKPIを設定して進捗状況を検証します。

(3) 実施計画

基本計画で示す施策の効果的な実現に向けた具体的な事業を示すものです。計画期間を3年間とし、1年ごとに財政状況を基に内容を見直し、公表します。

2 実施計画の概要

(1) 実施計画作成の主旨

実施計画は、第6次川島町総合振興計画前期基本計画の実行計画であり、計画期間における事業の優先順位の決定と予算編成方針の基礎資料となるものです。実施計画の策定にあたっては、社会情勢の変化や緊急度が高く集中的に対応する新たな取組を反映させるため、3年ごとのローリングシステムを採用します。

(2) 実施計画の期間

期間は、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3年間とします。

(3) 本資料の対象事業

(2)で掲げる期間に実施される事業であり、第6次川島町総合振興計画前期基本計画に位置付けられた8の重要施策、39の主な施策と特に関連のある「代表事業」を対象に調書を作成し、取りまとめています。

その他、各施策に関連する事業は、所管課において予算化した上で実施しています。

(4) 留意事項

- ・代表事業調書に掲載された事業費は、概算事業費として計上しています。予算化に向けては、詳細な事業設計や事業費の精査を行った上で、当該年度の当初予算編成が行われます。
- ・所期の目的を達成した代表事業は、川島町総合振興計画審議会による検証を経た後に変更します。

3 評価方法

各施策に設定した評価指標の実績値が、目標値に対して基準値からどの程度まで達成しているか（達成率）について、下表に基づき評価します。

達成率計算式 $(\text{現状値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$ （小数点第2位以下切捨）

評価		達成率
A	目標達成に向け進んでいる	100%以上
B	目標達成に向け概ね進んでいる	75～100%未満
C	目標達成に向けやや遅れがある	50～75%未満
D	目標達成に向け遅れがあり、改善や工夫が必要と思われる	50%未満

※達成率の把握ができていない事業は「-」としています。

※数値基準のない事業や令和7年度達成に向けて進めている事業については、進捗状況により評価しています。

A：スケジュールどおり実施した

B：スケジュールを概ね実施した

C：スケジュールにやや遅れがある

D：スケジュールに遅れがある、または未実施

4 まちづくり総合目標「住みよさ町民満足度」

基本理念「ここが好き、やっぱり好き」に基づいて実施する各種施策の達成状況を検証するため、「住みよさ町民満足度」を本町の独自指標として設定します。

指標は、町民アンケートにおける「住みよさ」に関する設問の回答を点数化した上で平均値を求め、達成度を数値化して算出します。これにより、町民の皆さまが川島町に居住することについてどの程度満足しているか測定します。

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住みよさ町民満足度	目標	-	63.7%	64.2%	64.7%	65.2%	66.0%
	実績	63.2%	63.4%				
評価指標設定理由							
様々なまちづくりの取組の成果を測定するため、本町独自の評価指標として「住みよさ町民満足度」を設定し、町民の皆さまが心身ともに充実した生活を送っているかを確認する。	評価	-	D				

5 戦略目標ごとの代表事業

戦略目標1 まもる「未来に続き安全・安心な暮らしをまもる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R5	R6	R7
重要1	災害に備える環境整備	高台避難場所整備事業	62,000	100,000	200,000
重要2	持続可能な循環型社会の実現	ゼロ・ウェイスト推進事業	1,865	1,865	1,865
1	自治・コミュニティの振興	コミュニティ推進事業	24,836	24,836	24,836
2	消防・防災体制の充実	自主防災組織育成事業	3,356	3,378	3,400
3	人権尊重・男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業	244	244	244
4	交通安全の推進	交通安全対策事業	9,589	9,589	9,589
5	健康づくりの推進	健康管理システム整備事業	3,414	3,414	3,414
6	福祉のまちづくり	社会福祉総務事業	15,621	15,621	15,621
7	障がい者福祉の充実	障害者自立支援事業	13,661	13,661	13,661
8	高齢者福祉の充実	生活支援体制整備事業	4,009	4,009	4,009
9	社会保障の充実	特定健康診査等事業	28,583	28,083	27,279
10	ごみ処理適正化の推進	新ごみ処理施設整備推進事業	調整中	調整中	調整中
11	自然環境と共生するまちづくり	公害対策事業	1,679	1,679	1,679
12	緑あふれる安心空間の整備	都市公園等の維持管理の充実	68,847	66,494	103,774
13	安心して暮らすための河川の整備	排水路整備事業	55,750	41,250	52,250
14	住みよいまちづくり	都市計画総務事業	1,272	1,772	1,772
15	上下水道の整備・維持管理	雨水幹線整備事業	113,200	11,600	340,000
16	安全に通行できる道路の整備	主要幹線道路整備事業	32,000	32,000	32,000
17	持続可能な公共交通網の形成	地域公共交通対策事業	20,606	20,346	20,606
18	農地保全と有効利用	農地中間管理事業	11,502	23,134	24,552
19	公共施設の適正な管理	公共施設等総合管理事業	0	0	0
20	適正な行財政運営の推進	計画行政推進事業	2,006	2,006	2,006
年度ごと概算事業計			474,040	404,981	882,557

戦略目標1 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住み続けたいと思う町民の割合	目標	-	71.1%	71.3%	71.5%	71.7%	72.0%
	実績	70.9%	70.5%				
評価指標設定理由							
戦略目標1で掲げる取組の成果を測定するため、「住み続けたいと思う町民の割合」を設定し、町民の皆さまが安全・安心な暮らしを送っているかを確認する。	評価	-	D				

No.	重要1	戦略目標	まもる	施策名	災害に備える環境整備	分類	継続
実施計画事業名	高台避難場所整備事業	予算書事業名	高台避難場所整備事業	関連計画	地域防災計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	大規模水害に際に町外に避難することが困難な場合に備え、高台避難場所を整備する。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度に高台避難場所整備計画案を作成し、地権者への説明会を実施し、意見等を伺った。令和4年度は測量・地質調査・設計を行う。用地取得の必要があるため、地権者及び関係者へ丁寧な説明を行い、事業を進める。
------	---	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・高台避難場所整備計画策定 ・地質調査	・高台避難場所整備計画策定	・土地購入 ・物件調査	・工事	・工事

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	11,484	85,800	62,000	100,000	200,000
財源内訳	国庫支出金	38,000	2,000	50,000	100,000
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	11,484	47,800	60,000	50,000	100,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高台避難場所の箇所数	目標	-	計画	設計	用地取得	造成	1箇所
	実績	計画素案作成	計画策定				
評価指標設定理由	大規模水害時、避難が困難な場合、緊急的な避難をする場所が必要となるため、5年で1箇所を設定した。		A				
	評価	-					

No.	重要2	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な循環型社会の実現	分類	継続
実施計画事業名	ゼロ・ウェイスト推進事業		予算書事業名	4R運動推進事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	持続可能な循環型社会の形成に向けた施策を展開する。	評価の考え方及び今後の対応策	ゼロ・ウェイストに向けて様々な施策を実施しているが、ごみの総排出量は目標より減らすことができず評価はDである。ゼロ・ウェイストの中でも、まずは可燃ごみの削減に重点を置き、可燃ごみの中でも比率が多いプラスチックごみ、生ごみの施策について検討を行っていく。
------	---------------------------	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 地域情報サイトとリユースに関する協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 プラスチック削減事業(ペットボトルの削減及びマイボトルの普及推進)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 プラスチック製品一括回収による分別区分及び収集形態の検討 集団資源回収報奨金単価の改定 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 生ごみ再資源化事業(給食センター及び事業系生ごみの再資源化検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・ウェイストに向けて新たな施策の検討、実施 ごみ処理手数料の検証

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	810	1,565	1,865	1,865	1,865
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	810	1,565	1,865	1,865	1,865

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1人1日あたりのごみ総排出量	目標	-	922g/人・日	915g/人・日	907g/人・日	905g/人・日	899g/人・日
	実績	947g/人・日	937g/人・日				
評価指標設定理由							
ごみの減量化を図れる指数であるため	評価	-	D				

No.	1	戦略目標	まもる	施策名	自治・コミュニティの振興	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業		予算書事業名	自治振興事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	自治・コミュニティの推進について、自治会などはその目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行い、自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすくなるような環境整備を推進してまいりました。また、集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討してまいりましたが、自治会加入率が低下している状況です。今後は、自治会アンケートを実施し、自治会への需要を把握した上で、より効果的な支援を図ってまいります。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	17,960	24,836	24,836	24,836	24,836
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他		2,032	2,032	2,032
一般財源	17,960	22,804	22,804	22,804	22,804

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自治会加入率	目標	-	77.6%	78.2%	78.8%	79.4%	80.0%
	実績	77.0%	76.5%				
評価指標設定理由	評価	-	D				
自治会加入率の増減により測定する。1年ごとに0.6%ずつ増加し、R7年度に80.0%の自治会加入率を達成する。							

No.	2	戦略目標	まもる	施策名	消防・防災体制の充実	分類	継続
実施計画事業名	自主防災組織育成事業		予算書事業名	災害対策事業	関連計画	地域防災計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	自主防災組織への防災意識の向上や、防災体制の支援などをとおして、地域防災力の向上を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	自主防災組織ごとに、防災を推進する人材が不足しているため、防災意識が高い地区と低い地区と差がでており、さらに、コロナ禍における自主防災活動等が制限される状況から、地域防災リーダーの人数が減少しております。今後も自主防災組織の充実、強化を図りつつ、地域防災リーダーを育成し、地区の防災力を推進を図るため、環境整備に努めてまいります。
------	---	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災アドバイザーの任命 自主防災会への補助 防災養成研修の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,552	3,334	3,356	3,378	3,400
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,552	3,334	3,356	3,378	3,400

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域防災リーダーの人数	目標	-	8人	9人	11人	13人	15人
	実績	7人	6人				
評価指標設定理由	評価	-	D				
地域の防災リーダーを育成するため、5年で2倍の15人を想定し、その5年後にさらに2倍の30人を設定した。							

No.	3	戦略目標	まもる	施策名	人権尊重・男女共同参画の推進	分類	継続	
実施計画事業名	男女共同参画推進事業		予算書事業名	男女共同参画推進事業	関連計画	川島町男女共同参画推進計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	性別に関わりなく個人として能力を発揮できる機会が確保され、人権が尊重される社会の実現を目指し、【意識づくり】【環境づくり】【社会づくり】の3つの柱を基本として、啓発や講座・研修会の開催など、各種施策を実施していく。	評価の考え方 及び 今後の対応策	人権教育に不満を感じている方の割合が増加しており、人権及び男女共同参画に関する更なる啓蒙活動が必要である。 各課事業の成果を確認するとともに、事業の見直しや効果的な方法への改善など、次の事業に活かすため、人権擁護委員及び男女共同参画推進委員会の協力を得て推進する。
------	---	------------------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)	・男女共同参画推進委員会の開催 ・男女共同参画研修会の実施 ・各種啓発事業の実施(啓発物資配布)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	180	244	244	244	244
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	180	244	244	244	244

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人権教育に満足していない町民の割合	目標	-	10.6%	10.3%	10.1%	9.9%	9.7%
	実績	10.9%	13.1%				
評価指標設定理由	評価	-	D				
町民アンケートにより、人権教育に対して満足していない町民の割合を測定する。 前回アンケートからの大いに不満に思う方の減少割合を目標に設定(5年間で1.2%減少)							

No.	4	戦略目標	まもる	施策名	交通安全の推進	分類	継続
実施計画事業名	交通安全対策事業		予算書事業名	交通安全対策事業		関連計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	交通安全運動や交通安全教育など、交通事故防止のための普及推進・交通安全施設である防犯灯の設置や適正な維持管理を進める。	評価の考え方及び今後の対応策	警察や交通安全協会など、関係機関や団体と連携した交通安全街頭キャンペーンの実施、児童・生徒・高齢者への交通安全啓発品の配布など、継続的な活動により、交通事故発生件数(人身事故)が減少したため、A評価とした。今後も啓発活動等は継続し、危険個所や事故多発場所には、注意喚起看板を設置するなど積極的な取組も進めていく。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全母の会連合会への補助 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全協会川島支部への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の運営 防犯灯の設置工事 東松山交通安全協会参画 交通安全協会川島支部への補助

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	9,361	9,454	9,589	9,589	9,589
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	9,361	9,454	9,589	9,589	9,589

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交通事故発生件数(人身事故)	目標	-	68件	66件	64件	62件	60件
	実績	69件	58件				
評価指標設定理由							
1年間に2件の事故発生件数を減らし、R7は60件とする。	評価	-	A				

No.	5	戦略目標	まもる	施策名	健康づくりの推進		分類	継続
実施計画事業名	健康管理システム整備事業		予算書事業名	保健衛生総務費	関連計画	川島町健幸長寿のまちづくり推進計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町民の健康診査やがん検診、予防接種等の記録の電子台帳として、住民の健康管理を一元的に行うもの。	評価の考え方及び今後の対応策	少しずつではあるが健康寿命は延びている。しかし、ここ23年はコロナ禍により生活様式も変わり、体調を崩しても受診を控えるなどして重症化する方もあり、健康寿命に少なからず影響を及ぼしていると考えられる。引き続き、健康管理システムを活用し、住民の健康を管理し健康診査受診等勧奨に努め、健康な生活を送れるよう努める。
------	---	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	・健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上、改修)	・健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	・健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)	・健康管理システムの運用 (システム保守管理、借上)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	3,269	3,311	3,414	3,414	3,414
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,269	3,311	3,414	3,414

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
町民の健康寿命 (日常生活を制限されることなく健康的な生活を送ることのできる期間の延伸を目指す)	目標	-	男女ともに+0.5歳	男女ともに+0.5歳	男女ともに+1歳	男女ともに+1.1歳	男女ともに+1.2歳
	実績	男性17.41歳 女性20.48歳	集計中				
評価指標設定理由	評価	-					
健康寿命については、H26年度(男性16.41歳、女性19.56歳)とH30年度(男性17.4歳、女性20.48歳)を比較すると、4年間で男性1.06歳、女性0.92歳延びており、R元年度(男性17.74歳、女性20.67歳)ではH30年度より男性0.34歳、女性0.19歳と微細ながら伸びている。目標年度まで男女ともに健康寿命の延伸1歳を目指す。							

No.	6	戦略目標	まもる	施策名	福祉のまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	社会福祉総務事業		予算書事業名	社会福祉協議会補助事業	関連計画	川島町地域福祉計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	地域福祉の総合的な担い手である社会福祉協議会に対し、運営費や事業費を補助することで、社会福祉協議会の安定的な運営と福祉事業の活性化を促進する。	評価の考え方及び今後の対応策	ボランティア数について、目標を上回る人数となった。今後も、町民ボランティアやボランティア団体を育成し、町や社会福祉協議会以外の地域福祉の担い手として活動していただく。 また、高齢者のいきがいくくりとしてのボランティア活動も目的とすることから、更なるボランティア人数の増加を図っていく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い・介護者慰労)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い・介護者慰労)の補助	・社会福祉協議会の運営補助 ・地域福祉活動(戦没者遺族援護・長寿祝い・介護者慰労)の補助

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	20,436	20,411	15,621	15,621	15,621
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	20,436	20,411	15,621	15,621	15,621

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福祉ボランティアの人数	目標	-	30人	35人	40人	45人	50人
	実績	26人	48人				
評価指標設定理由							
地域福祉の担い手を育成し、地域で支え合う取組の活性化を図るため	評価	-	A				

No.	7	戦略目標	まもる	施策名	障がい者福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	障害者自立支援事業		予算書事業名	障害者生活支援事業	関連計画	川島町障がい者計画、川島町障がい福祉計画、障がい児福祉計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	聴覚障がい者のための手話通訳の派遣や障がいにより低下した身体機能を補うための日常生活用具の給付、屋外での移動が困難な方への移動支援等により、障がい者が在宅で生活していくうえで、必要な支援を実施していく。	評価の考え方及び今後の対応策	障がい者の地域生活を支えていくための機関である、地域生活支援拠点を開設するための準備期間であるが、若干、協議が遅れている。目標年度である令和5年度には、確実に開設ができるよう協議を進めていく。
------	---	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者、要約筆記者派遣事業の実施 日常生活用具の給付 移動支援事業の実施 障がい者スポーツ、芸術文化活動等事業への補助

年度 (単位：千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	9,518	13,661	13,661	13,661	13,661	
財源内訳	国庫支出金	4,826	3,538	3,538	3,538	3,538
	県支出金	2,413	2,268	2,268	2,268	2,268
	地方債					
	その他					
一般財源	2,279	7,855	7,855	7,855	7,855	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度 要綱作成 アドバイザーの活用	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域生活支援拠点の利用者数	目標	-	要綱作成		開設	5人	10人
	実績	設置準備	近隣市町村へ策定手法について聴取				
評価指標設定理由	評価	-	C				

地域生活支援拠点は障がい者の地域生活や自立を支えていくための機関であり、令和5年度中の開設を目指している。当機関の利用者が増加することで、障がい者の自立に向けた取組みが機能していることが確認できるため

No.	8	戦略目標	まもる	施策名	高齢者福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	生活支援体制整備事業		予算書事業名	生活支援体制整備事業費	関連計画	川島町高齢者福祉計画 ・介護保険事業計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	誰もが住み慣れた地域社会で暮らし続けることができるよう、高齢者を地域で支える仕組みを構築する。はじめは町民の集いの場としてスタートし、町民同士の支え合い活動として発展させていく。	評価の考え方及び今後の対応策	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けて、支え合いの場の開催がほとんど出来なかった。外的要因ではあるものの、開催実績が大きく下回ってしまった。活動自粛期間中は、家庭でできる体操や健康づくりにつながるレシピを掲載したチラシを配布し、各自で介護予防活動ができるよう努めた。感染状況を注視しながら、支え合いの場の再開に向け、地域の支援をしていく。
------	---	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・生活支援体制整備事業の実施 社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置	・生活支援体制整備事業の実施 社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを配置

年度 (単位：千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009	
財源内訳	国庫支出金	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423
	県支出金	770	770	770	770	770
	地方債					
	その他					
一般財源	816	816	816	816	816	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支え合いの場の開催回数	目標	-	126回	137回	148回	159回	170回
	実績	115回	14回				
評価指標設定理由							
支え合いの場とは、高齢者を中心とした地域の集いの場であり、町民同士の支え合い活動への発展が期待される。開催が増えることで、様々な取組みへつながっていくため	評価	-	D				

No.	9	戦略目標	まもる	施策名	社会保障の充実	分類	継続	
実施計画事業名	特定健康診査等事業		予算書事業名	特定健康診査等事業費	関連計画	川島町国民健康保険保健事業実施計画、川島町特定健診等実施計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>特定健診を実施し、疾病の早期発見・治療・予防に努め、町民1人ひとりの健康の保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>平成28年度より胃がん検診と骨密度測定を集団健診時と同日実施、平成29年度からは歯科検診の同日実施、また県の推奨する生活習慣病重症化予防対策共同事業に参加し実施することにより一定の効果が得られた。引き続き更なる受診率向上のため、事業の見直しを行っていく。</p>
------	--	-----------------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<p>・特定健康診査の受診率向上を図るため、埼玉県国保ヘルスアップ事業に参加し、AIを用いた特定健診未受診者勧奨、特定保健指導未利用者勧奨を実施した。また、特定健診受診促進のために、特定健診とがん検診受診者に対して、抽選会を実施した。抽選会については、3年間の効果を検証し、次年度からの事業について検討する。</p>	<p>・特定健診の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施。前年度の受診勧奨を参考に、勧奨方法を導入する。 ・昨年度まで実施していた抽選会は町政50周年記念とタイアップしたもののみ実施する。また、特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布する。</p>	<p>・特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施。 ・特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布を実施する。</p>	<p>・特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施。 ・特定健診及び長寿健診受診者に対しインセンティブ配布を実施する。インセンティブについては、見直しを行う。</p>	<p>・特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の周知及び受診勧奨を実施。</p>

年度 (単位：千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	20,954	24,366	28,583	28,083	27,279	
財源内訳	国庫支出金	3,592	3,802	3,800	3,800	3,800
	県支出金	3,592	3,802	7,800	7,800	7,800
	地方債					
	その他					
	一般財源	13,770	16,762	16,983	16,483	15,679

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国民健康保険健康診断受診率	目標	-	45%以上	50%以上	53%以上	56%以上	60%以上
	実績	42.8%	49.0%				
評価指標設定理由	評価	-	A				
特定健診の受診率と特定保健指導の受診率も向上させることにより、町民一人ひとりの健康保持増進と医療費の適正化を図り、「健康寿命の延伸」を目指す。							

No.	10	戦略目標	まもる	施策名	ごみ処理適正化の推進	分類	継続
実施計画事業名	新ごみ処理施設整備推進事業	予算書事業名	新ごみ処理施設整備推進準備事業	関連計画	一般廃棄物処理基本計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	ごみ処理施設を整備するため、計画等の策定を行う。	評価の考え方 及び 今後の対応策	令和3年度に10か所あるごみ処理施設建設候補地を3か所に絞り込みを行い、予定どおり進んでいるため評価をAとした。令和4年度中に建設候補地を1か所に絞り込み、令和5年度の計画策定につなげていきたい。
------	--------------------------	------------------------	--

各年度の 事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・建設候補地検討	・建設候補地選定 ・視察会の実施	・ごみ処理基本計画策定 ・施設整備基本構想の策定	・循環型社会形成推進地域計画 策定 ・例規整備	・施設整備基本計画 ・測量、地質、地歴調査 ・環境影響評価

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	6,713	13,107	調整中	調整中	調整中
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	6,713	13,107			

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ごみ処理施設整備計画の進捗	目標	-	建設用地選定	建設用地選定	事業方式の検討	事業方式の検討	ごみ処理 事業方式の決定
	実績	ごみ処理事業検討開始	3か所に絞り込み				
評価指標設定理由	新ごみ処理施設を建設する上で必要なプロセスであるため						
評価		-	A				

No.	11	戦略目標	まもる	施策名	自然環境と共生するまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	公害対策事業		予算書事業名	公害対策事業	関連計画	川島町地球温暖化対策実行計画 (事務・事業編)	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町内の大気・水質等の状況を調査し、住みよい環境づくりと町の事務・事業に関し、温室効果ガスの削減を図るための事業。また、川島町地球温暖化対策実行計画により、町の事務・事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガス排出量の削減を推進する。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度実績は3%減(H28比)であったためD評価とした。考えられる要因として、新型コロナウイルスの行動制限緩和や新型コロナウイルス対応等で(喚起しながらエアコン稼働など)削減率が低下したものと推測する。今後も、職員一人ひとりによる直接的な取組(節電行動等)は継続していくが、限界もあるため、間接的な削減への取組(EV車の導入提案など)も研究していく。
------	--	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 比企河川合同水質調査業務の実施 ダイオキシン測定業務の実施 川島IC北側土地区画整理事業環境影響事後調査業務の実施 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 比企河川合同水質調査業務の実施 ダイオキシン測定業務の実施 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 比企河川合同水質調査業務の実施 埼玉県西部地区環境事務研究会への参画 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 比企河川合同水質調査業務の実施 埼玉県西部地区環境事務研究会への参画 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 比企河川合同水質調査業務の実施 埼玉県西部地区環境事務研究会への参画 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の推進

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	10,294	2,640	1,679	1,679	1,679
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	52	56	56	56
	地方債				
	その他				
一般財源	10,242	2,584	1,623	1,623	1,623

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共施設におけるCO2排出量削減率(H28比)	目標	-	11%削減	13%削減	15%削減	17%削減	20%削減
	実績	9%削減	3%削減				
評価指標設定理由							
令和5年度には、平成28年度比15%以上、令和7年度には、平成28年度比20%以上のCO2の削減を目指す。	評価	-	D				

No.	12	戦略目標	まもる	施策名	緑あふれる安心空間の整備	分類	継続
実施計画事業名	都市公園等の維持管理の充実		予算書事業名	都市公園等管理事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	定期的な点検調査を実施し、計画的に補修・更新を行うことで、利用者の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図りながら、将来にわたって適正に維持管理していく。施設防犯を重視し、安心して清潔な利用しやすい整備を実施し、利用促進を図る。鳥羽井沼周辺の都市公園化事業に向けての整備を推進及び平成の森公園周辺の観光ゾーン化に向けてワークショップ等を開催し、基本構想・計画をまとめる。	評価の考え方及び今後の対応策	既存公園の点検、修繕などの適正な維持管理により、公園・緑地になどの設置や整備に対する満足度は、目標を上回っている。今後、平成の森公園のリニューアル、鳥羽井沼周辺の公園化等の検討を進め、更なる満足度の向上を図る。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理	・各公園の管理

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	65,705	63,668	68,847	66,494	103,774
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他 一般財源	65,705	63,668	68,847	66,494

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公園・緑地整備に対する満足度	目標	-	25.3%	25.3%	25.3%	25.3%	28.0%
	実績	25.3%	27.5%				
評価指標設定理由							
インター南側地区区画整理事業による公園・緑地の整備、鳥羽井沼周辺公園化、平成の森公園リニューアルなどにより満足度を向上させる。	評価	-	A				

No.	13	戦略目標	まもる	施策名	安心して暮らすための河川の整備	分類	継続
実施計画事業名	排水路整備事業		予算書事業名	河川改良事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	河川・排水路を整備することで、冠水被害の防止を図る。 河川・排水路の整備については、下流から整備を行うことにより流れを確保し、住民の生命・財産を守る。	評価の考え方 及び 今後の対応策	令和元年度東日本台風による被災を受け、内水氾濫箇所の水路整備を行うことにより用排水路整備に対する満足度をあげることができた。今後も、効果的な整備を計画的に進めていく。
------	--	------------------------	---

各年度の 事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・水路現況測量業務委託 ・水路整備工事	・水路整備工事	・水路整備工事	・水路整備工事	・水路整備工事

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	9,451	29,832	55,750	41,250	52,250
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他 一般財源	9,451	29,832	55,750	41,250

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
用排水路整備に対する満足度(%)	目標	-	15.8%	18.1%	20.4%	22.7%	25.0%
	実績	13.6%	16.4%				
評価指標設定理由							
冠水被害の減少について、排水路整備に対する満足度により測定する。	評価	-	A				

No.	14	戦略目標	まもる	施策名	住みよいまちづくり	分類	継続	
実施計画事業名	都市計画総務事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	建築物耐震改修促進計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	昭和56年5月31日以前の建築物を対象に、大地震発生の際の耐震性を増大するため、耐震診断・耐震改修の実施を促進し、災害に強いまちづくりの推進を図る。また、空き家等の適正管理や流通を促進し、だれもが住み続けたいような住環境を創出する。	評価の考え方及び今後の対応策	住宅リフォーム等の制度利用者が増加したことにより、評価指標に対する制度利用件数を達成することができた。しかし、耐震診断・耐震改修補助制度の利用実績は0件であり、今後、広報やHPにおいて、積極的に耐震対策の重要性、補助制度の周知、利用促進を図り災害に強いまちづくりの推進を図っていく。
------	--	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 空き家等対策計画の策定 空き家対策協議会立ち上げ準備 耐震診断、改修等の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 建築物耐震改修促進計画改訂 空き家不動産価値調査 空き家対策協議会立ち上げ準備 耐震診断、改修等の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策協議会の立ち上げ 老朽空き家等解体補助 耐震診断、改修等の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策協議会の運営 ブロック塀補助金メニューの追加 老朽空き家等解体補助 耐震診断、改修等の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策協議会の運営 ブロック塀への補助 老朽空き家等解体補助 耐震診断、改修等の補助

年度 (単位：千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	0	5,600	1,272	1,772	1,772
財源内訳	国庫支出金		550	800	800
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	4,041	722	972	972

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住宅リフォーム・耐震等制度利用件数	-	74件 (うち耐震 0件) (うち福祉 50件) (うちリフォーム 24件)	100件 (うち耐震 0件) (うち福祉 60件) (うちリフォーム 40件)	101件 (うち耐震 1件) (うち福祉 60件) (うちリフォーム 40件)	111件 (うち耐震 1件) (うち福祉 70件) (うちリフォーム 40件)	121件 (うち耐震 1件) (うち福祉 80件) (うちリフォーム 40件)
評価指標設定理由	74件	105件 (耐震0件福祉75件農政30件)				
災害に強いまちづくりの実現に向けて、耐震関連補助制度等を充実させることにより、補助制度の利用促進を図る。	-	A				

No.	15	戦略目標	まもる	施策名	上下水道の整備・維持管理	分類	継続	
実施計画事業名	雨水幹線整備事業		予算書事業名	管渠建設改良費(雨水)	関連計画	川島町公共下水道事業計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	市街化区域の浸水対策として、主要な雨水幹線の整備を計画的に推進する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	飯島雨水幹線の整備は、計画どおり順調に進捗しており、令和3年度の目標に達成したため評価はAとした。今後も引き続き浸水被害の軽減を図るよう、川島町公共下水道事業計画に基づき、鋭意、雨水幹線の整備を実施する。
------	------------------------------------	------------------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○飯島6号雨水幹線 ・飯島6号雨水幹線の工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・飯島3号雨水幹線の工事 ・環境事前調査の実施 ・環境事後調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島3号雨水幹線 ・環境事後調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○飯島1号雨水幹線 ・工事設計 	<ul style="list-style-type: none"> ○飯島1号雨水幹線 ・飯島1号雨水幹線工事 ・環境事前調査の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	609,814	488,490	113,200	11,600	340,000	
財源内訳	国庫支出金	280,330	150,000	22,500		168,750
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	329,484	338,490	90,700	11,600	171,250	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
飯島雨水幹線整備進捗率	目標	-	69.0%	69.5%	70.0%	70.5%	71.0%
	実績	68.5%	69.8%				
評価指標設定理由							
市街化区域の浸水対策として計画的に整備をする。	評価	-	A				

No.	16	戦略目標	まもる	施策名	安全に通行できる道路の整備	分類	継続
実施計画事業名	主要幹線道路整備事業		予算書事業名	道路新設改良事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	主要幹線道路の車道及び歩道の整備を行なうことで、安全の確保と生活環境の改善を図る。 歩道を整備することにより、通学路の安全確保及び周辺住民の安全や住環境を改善する。	評価の考え方及び今後の対応策	道路整備について、令和5年度までは先行して水路及び拡幅部の整備を行っている。また、道路用地については関係地権者と交渉を行っているところである。今後は、地元及び関係機関との調整を密に行い、歩道整備を進めて行く。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・道路改良工事	・道路改良工事	・道路改良工事	・道路改良工事	・道路改良工事

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	34,019	36,310	32,000	32,000	32,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	34,019	36,310	32,000	32,000	32,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
幹線町道の歩道整備率(%)	目標	-	32.9%	32.9%	32.9%	33.0%	33.4%
	実績	32.9%	32.9%				
評価指標設定理由							
安全な歩行者の通行について、幹線町道の歩道整備率により測定する。	評価	-	A				

No.	17	戦略目標	まもる	施策名	持続可能な公共交通網の形成	分類	継続	
実施計画事業名	地域公共交通対策事業		予算書事業名	地域公共交通対策事業	関連計画	川島町地域公共交通網形成計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町の公共交通施策について協議する地域公共交通会議の運営や、日常生活で自家用車による移動が困難な方への支援策「かわみんタクシー」の運行、バス利用を促進するためのバスイベント開催、地域公共交通網形成計画の進行管理等を行う。 東武バスを維持するため、利用促進施策や東武バスウエストとの協議を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	かわみんタクシーを実施したり、川島町役場線を運行させたが、令和3年度における公共交通に対する満足度は上げることができず、評価もDであった。今後は、令和4年度末に新たな地域公共交通計画を策定し、地域公共交通会議にて、満足度をあげるために施策を議論したうえで、事業を実施していきたい。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 元気なバス需要創出モデル事業の実施 かわみんタクシー利用実績の分析 地域公共交通会議の運営 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 地域公共交通計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 バスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 バスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> かわみんタクシーの運行補助 地域公共交通会議の運営 バスティバルの開催

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	32,013	25,816	20,606	20,346	20,606
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	256			
	地方債				
	その他				
一般財源	31,757	25,816	20,606	20,346	20,606

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共交通に対する満足度	目標	-	8.0%	8.5%	9.0%	9.5%	10.7%
	実績	7.4%	6.4%				
評価指標設定理由	評価	-	D				
公共交通の満足度をあげることで、町民の公共交通に対する利便性や移動手段の充実が図られることから指標に設定した。							

No.	18	戦略目標	まもる	施策名	農地保全と有効利用	分類	継続
実施計画事業名	農地中間管理事業		予算書事業名	農地集積事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	耕作放棄地の増加を防止するとともに、将来にわたって優良農地を引き継いでいくため、農地中間管理事業を活用し、担い手農家への農地の集積を進める。また、農地所有者が農地の貸付けに困らないよう、農業委員・農地最適化推進委員等と連携し、農地の集積・集約化を計画的に行う。	評価の考え方及び今後の対応策	農地中間管理事業を活用し、令和3年度の農地の集積面積は765haで目標を達した。今後は、現在の担い手から次の世代へ引き継いでいくための方策を検討しなければならない。農業用機械の大型化に伴い、農道整備などの要望があるが、多額の費用がかかるため進んでいない。効率化を図るためにも、基盤整備は重要な課題となっている。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・耕作条件改善事業への参画	・耕作条件改善事業への参画	・耕作条件改善事業への参画	・耕作条件改善事業への参画 ・公社農道整備事業への参画 ・埼玉型圃場整備の実施(約42ha)	・耕作条件改善事業への参画 ・公社農道整備事業への参画 ・埼玉型圃場整備の実施(約42ha)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	5,669	11,502	11,502	23,134	24,552
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,172	4,447	4,447	3,029
一般財源	2,497	7,055	7,055	20,105	20,105

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農地集積面積	目標	-	750ha	770ha	780ha	790ha	800ha
	実績	692ha	765ha				
評価指標設定理由							
農地中間管理事業を活用した農地の集積面積を指標とする。	評価	-	A				

No.	19	戦略目標	まもる	施策名	公共施設の適正な管理	分類	継続	
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業		予算書事業名	公共施設等総合管理事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	人口減少や財政状況を踏まえ、個々の公共施設の状況を把握し、長期的な視点による更新・統廃合、長寿命化等を計画的に推進し、公共施設の適正な運用を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度中においては、施設解体のための予算調整をしたが、実際に延床面積が削減したわけではないのでCとした。 今後においても、実施計画を用いて、PDCAを確立。各施設の長寿命化、統廃合、集約化、集約化を計画的に取り組んでいく。膨大な更新費用がかかることが予想されるため、財源の確保(基金の積立等)においても計画的に実行していく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・公共施設等総合管理計画改訂 ・公共施設個別施設計画のPDCA方法確立及び実施	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA	・公共施設個別施設計画のPDCA

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,958	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	1,958	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延床面積総量削減率(H28比)	目標		予算調整	解体実施	解体実施	集約調整	3.0%
	実績	1.7%	1.7%				
評価指標設定理由							
個別施設計画における目標	評価	-	C				

No.	20	戦略目標	まもる	施策名	適正な行財政運営の推進	分類	継続
実施計画事業名	計画行政推進事業		予算書事業名	計画行政推進事業	関連計画	川島町総合振興計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	社会情勢の急激な変化に対応し、持続可能なまちづくりを推進するため、財源の確保や費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	経常収支比率について、適正な状態を維持できたため、評価はAである。今後も施策を効果的・効率的に実施する必要があり、外部組織である「川島町総合振興計画審議会」による事業評価や検証を行い、PDCAサイクルの適切な運用により町政運営の推進を図る。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合振興計画の策定(計画策定、計画書製本) 総合振興計画審議会の開催 明治大学ゼミとの共同研究 埼玉縣信用金庫との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 埼玉縣信用金庫との連携 明治大学ゼミとの共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 埼玉縣信用金庫との連携 明治大学ゼミとの共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 埼玉縣信用金庫との連携 明治大学ゼミとの共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画審議会の開催 埼玉縣信用金庫との連携 明治大学ゼミとの共同研究

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	3,776	1,485	2,006	2,006	2,006
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,776	1,485	2,006	2,006	2,006

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	目標	-	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績	85.6%	80.4%				
評価指標設定理由	評価	-	A				
財源の確保を始めとしたまちづくりの持続性を保ち、費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営の検証に適した指標であるため。							

戦略目標2 つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R5	R6	R7
重要1	つどいの場の創出	地域学校協働活動推進事業	2,087	2,087	2,087
重要2	新しい自治体コミュニケーションの推進	住民力結集事業	673	733	793
1	多文化共生社会の推進	外国人支援事業	611	611	611
2	ふれあいの場の充実	住民サロン事業	398	398	398
3	いきがいの創出	コミュニティ推進事業（再掲）	24,836	24,836	24,836
4	青少年の地域参加の推進	子育て支援総合センター運営事業	29,929	26,446	26,666
5	新しいつながりの創出	ふるさと納税推進事業	35,000	50,000	50,000
6	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	文化財保護事業	12,371	1,578	978
7	デジタル化の推進	戸籍住民登録管理事業	26,144	16,153	16,153
8	広域連携の推進	広域行政推進事業	2,877	2,877	2,877
年度ごと概算事業計			134,926	125,719	125,399

戦略目標2 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくりの町民参加の促進に関する満足度	目標	-	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%
	実績	10.7%	9.8%				
評価指標設定理由	評価	-	D				

戦略目標2で掲げる取組の成果を測定するため、「まちづくりの町民参加の促進に関する満足度」を設定し、町民の皆さまが協働のまちづくりに一定の満足感を持っているかを確認する。

No.	重要1	戦略目標	つなぐ	施策名	つどいの場の創出	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年間96回予定していた地域学校協働活動が、59回の実施となったため目標人数に達しなかった。今後も感染症に留意しながらつどいの場、居場所づくりを設けるように注力したい。
------	--	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,075	2,087	2,087	2,087	2,087
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	716	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	359	829	829	829	829

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域学校協働活動参加者数	目標	-	3,900人	4,100人	4,300人	4,500人	4,752人
	実績	1,404人	2,740人				
評価指標設定理由	評価	-	C				
地域学校協働活動(ひろば活動)の魅力が高まれば利用者の増加につながると考え評価指標を設定した。この目標値は、2地区で、年間48回ひろばを実施した場合の評価値である。							

No.	重要2	戦略目標	つなぐ	施策名	新しい自治体コミュニケーションの推進	分類	継続
実施計画事業名	住民力結集事業		予算書事業名	住民力結集事業		関連計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	かわじま☆未来塾を運営し、塾生と町職員が協働で調査研究と政策立案・企画を行うことにより、町全体の政策形成力を高め、未来に希望ある魅力的なまちづくりを目指す。また、政策形成過程を通じて、地域を支えるリーダーを養成する。近年、塾生の対象を広げ、「町の発展に質する活動に意欲のある者」とし、塾活動を活発的となった。また、公募委員候補者名簿登載者を募集するアンケートを年1回実施している。	評価の考え方及び今後の対応策	かわじま☆未来塾によるまちづくり活動数は令和3年度末をもって累計55回であり、活発的に活動しているため、評価はAである。令和4年度においては、対象範囲を広げて、町民だけでなく町外の方も加入できるようにし、さらなる活性化を図った。公募委員候補者については、210名を超えたが、公募委員として実際どれくらい活動しているかや取扱等整理が必要となっている。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 塾生の活動支援 公募委員候補者の募集 まちづくり活動団体への補助

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	3,208	545	673	733	793
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	3,208	545	673	733	793

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
かわじま☆未来塾によるまちづくり活動数	目標	-	50回	60回	70回	80回
	実績	40回	55回			
評価指標設定理由						
まちづくり活動の回数増加・充実を目指す過程で町と課題の共有等を図ることで、施策の目的である「町とのコミュニケーションの充実」につなげることができる。	評価	-	A			

No.	1	戦略目標	つなぐ	施策名	多文化共生社会の推進	分類	継続	
実施計画事業名	外国人支援事業		予算書事業名	外国人支援事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町内在住外国人に対する国際交流事業の実施や日本語学習等の支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	コロナウイルス感染症の予防対策を十分に講じて、交流事業を実施することができた。今後も感染症対策に留意しながら、地域住民と外国人の方、外国人の方同士の交流を推進する。
------	------------------------------------	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人の活動支援 交流事業の実施 コーディネート事業の実施 日本語学習支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人の活動支援 外国人の日本語教室の開催 イベント等事業の実施 コーディネート事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人の活動支援 外国人の日本語教室の開催 イベント等事業の実施 コーディネート事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人の活動支援 外国人の日本語教室の開催 イベント等事業の実施 コーディネート事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人の活動支援 外国人の日本語教室の開催 イベント等事業の実施 コーディネート事業の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	401	611	611	611	611
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	401	611	611	611	611

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
町内在住外国人と地域住民との交流事業実施回数	目標	-	1回	1回	2回	3回	4回
	実績	1回	1回				
評価指標設定理由							
多文化共生の機運の醸成度を交流事業の実施回数により測定する。 事業内容を整理し、軌道に乗り次第、毎年1事業ずつ増やし、R7に事業数4回を達成する。	評価	-	A				

No.	2	戦略目標	つなぐ	施策名	ふれあいの場の充実	分類	継続
実施計画事業名	住民サロン事業		予算書事業名	住民サロン事業	関連計画	川島町地域福祉計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	地域住民の自主的な活動により、子どもから高齢者までの多世代が集う居場所(サロン)の設置及び活動支援を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まることができず、小さな拠点の整備が滞ってしまった。 町民同士のふれあいにより地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進されることから、運営ボランティアの発掘と並行し、拠点の整備について地域に働きかけていく。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)	・通いの場・小さな拠点の整備(借上げ及び保険対応)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	398	398	398	398	398
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		0		
	地方債				
	その他				
一般財源	398	398	398	398	398

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
通いの場・小さな拠点の箇所数	目標	-	34箇所	37箇所	40箇所	43箇所	47箇所
	実績	31箇所	31箇所				
評価指標設定理由							
各地区に地域のすべての方が気軽に集まれる小さな拠点が増えていくことにより、町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化や世代間交流が促進されるため	評価	-	D				

No.	3	戦略目標	つなぐ	施策名	いきがいの創出	分類	継続
実施計画事業名	コミュニティ推進事業(再掲)		予算書事業名	自治振興事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	各自治会の活動推進及び充実を図ると共に、自治会、区長、区長会等との連絡・調整・支援を実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	自治会が中心となって実施する地域のコミュニティ活動の満足度については、目標を上回った。自治・コミュニティの推進について、自治会などはその目的にあった事業を推進し、地域住民の参加のもと、町はその活動を支援することが重要である。支援については、区長会等の協力を得て、自治会の課題やニーズを把握したなかで、補助事業の見直しや効果的な方法への改善、助言などを行う。自治会等の活動の充実化を図り、誰もが参加しやすいような環境整備を推進する。集会所の修繕等の必要性を把握するため、各自治会に対してアンケート調査を行い、結果を基に補助金のメニューや補助率を適宜検討する。
------	---	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会に対する補助(自治会運営費助成金、地縁団体事務費助成金等) コミュニティ推進協議会に対する補助(地区コミュニティ活動事業補助金) コミュニティ助成事業((一財)自治総合センター)を活用した集会所の整備

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	17,960	24,836	24,836	24,836	24,836
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他		2,032	2,032	2,032
一般財源	17,960	22,804	22,804	22,804	22,804

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
地域におけるコミュニティ活動への満足度	目標	-	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%
	実績	11.1%	12.7%				
評価指標設定理由							
自治会が中心となって実施する地域のコミュニティ活動への満足度を向上することにより、町民の日常生活を送る上で <i>のいきがい</i> を測定する。	-	A					

No.	4	戦略目標	つなぐ	施策名	青少年の地域参加の推進	分類	継続		
実施計画事業名	子育て支援総合センター運営事業		予算書事業名	子育て支援総合センター運営事業		関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設（子育て支援総合センター「かわみんハウス」）として運営する。青少年健全育成に寄与するため、中高生が参加する事業を行う。	評価の考え方及び今後の対応策	<p>中高生自らが企画した事業の実施を目指す。</p> <p>①かわみんハウスに中高生を集める。とっかかり・かかわりを持ってもらう。</p> <p>②かわみんハウス事業に青少年相談員等の協力</p> <p>③中高生自らの企画した事業の展開を実施</p> <p>相談員・支援センター職員・町職員がサポートし、異年齢・地域住民との交流等の事業を企画運営する。</p> <p>令和3年度は、事業に向けて、子育て支援センター（指定管理者）と検討を実施しているため、A評価としている。</p>
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）	・川島町子育て支援総合センターの管理運営（施設管理、事業企画及び運営）

年度 (単位：千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	25,225	27,203	29,929	26,446	26,666	
財源内訳	国庫支出金	2,991	2,991	2,991	2,991	2,991
	県支出金	2,991	2,991	2,991	2,991	2,991
	地方債					
	その他	114	119	119	119	119
	一般財源	19,129	21,102	23,828	20,345	20,565

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子育て支援センターにおける 中高生参加事業数	目標	-	事業検討	2件	2件	2件
	実績	2件	事業検討			
評価指標設定理由						
中高生が企画した事業の実施を目指し、青少年健全育成に寄与するため、参加事業数を増やし、事業内容を充実するため。	評価	-	A			

No.	5	戦略目標	つなぐ	施策名	新しいつながりの創出	分類	継続
実施計画事業名	ふるさと納税推進事業		予算書事業名	ふるさと納税推進事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	本町にふるさと納税寄附金を行った町外に居住する方に対して、特産品等を贈呈することにより、ふるさと納税寄附金の推進を図り、町財政に資するとともに、町の特産品、地元企業等をはじめ、町全体のPRに寄与することを目的としている。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度のふるさと納税寄附件数は目標を下回り、評価はDであった。新たに注目を集めるお礼の品を追加し、寄附の増加につなげたい。また、寄附の用途について、明確な事業を示していく。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 ・地域商社との連携に係る調整	・ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 ・地域商社との連携による事業の実施(返礼品点数増に向けた事業者募集強化)	・ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 ・地域商社との連携による事業の実施(高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進)	・ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 ・地域商社との連携による事業の実施(高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進)	・ふるさと納税寄附金の受入及びお礼の品の送付等ふるさと納税に関する業務 ・地域商社との連携による事業の実施(高付加価値/高価格帯の返礼品開発・寄附PR/レポート促進)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	17,109	24,999	35,000	50,000	50,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	17,109	24,999	35,000	50,000	50,000

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふるさと納税寄附件数	目標	-	3,000件	3,500件	4,000件	4,500件	5,000件
	実績	2,616件	2,123件				
評価指標設定理由							
新しいつながりの創出を目標とするのであれば、ふるさと納税の寄附金額よりも、つながりを数値化するという点において、寄附件数がよりふさわしいと考えるため。	評価	-	D				

No.	6	戦略目標	つなぐ	施策名	文化財の保護・活用及び伝統文化の継承	分類	継続	
実施計画事業名	文化財保護事業		予算書事業名	文化財保護事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町指定文化財を増やし、積極的に文化財を保護するとともに、文化財を活用し、町の歴史・文化を学ぶことができる「郷土資料館」を既存施設内に開設することで、伝統文化を継承し、郷土を愛し、誇りに思う心を醸成する。郷土芸能の保存と団体の育成を図るため、保存会や後継者育成を支援する。伝統芸能等の継承・披露する場として、郷土芸能祭を継続的に実施する。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度はかわじま郷土資料館(仮称)設置準備委員会を組織した。引き続き郷土資料館の開館を目指し、議論を活発化させ準備を加速させる。開館後は、周知を図るとともに、魅力的な資料展示に努め、来館者数を増やす仕組みづくりを検討する。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化シンポジウムの開催 かわじま郷土資料館(仮称)開館プロジェクトの実施 郷土芸能祭実施 伝統芸能映像記録の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 展示ケースの改修 歴史・文化シンポジウムの開催 かわじま郷土資料館(仮称)の開館プロジェクトの実施 郷土芸能祭の実施 文化財動画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 展示室空調設備の設置 川島インター南側の試掘 デジタルミュージアムの設置 デジタルスタンプラリーの開発 郷土芸能祭の実施 伝統芸能映像の記録 歴史・文化シンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルミュージアムの管理 デジタルスタンプラリーの管理 郷土資料館の管理 郷土芸能祭の実施 文化財動画の制作 歴史・文化シンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルミュージアムの管理 デジタルスタンプラリーの管理 郷土資料館の管理 郷土芸能祭の実施 歴史・文化シンポジウムの開催

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,009	3,720	12,371	1,578	978
財源内訳	国庫支出金		1,227		
	県支出金	32	32	645	32
	地方債				
	その他				
一般財源	977	3,688	10,499	1,546	946

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
郷土資料館来館者数	目標	-	設置準備委員会組織	展示内容検討 資料収集	郷土芸能祭撮影 資料収集	資料収集 解説文作成
評価指標設定理由	実績	開設準備	設置準備委員会組織			
郷土資料館の設置を目指す。 郷土資料館内にデジタルミュージアムなど設置し、展示の充実を図る。	評価	-	A			

No.	7	戦略目標	つなぐ	施策名	デジタル化の推進	分類	継続
実施計画事業名	戸籍住民登録管理事業		予算書事業名	戸籍住民登録管理事業	関連計画	DX推進計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	町民諸届出等に基づく住民記録を適正に行い、各種証明の交付や町行政サービスの的確な実施につなげるとともに、マイナンバーカード普及によりデジタル化を推進することで、町民の利便性向上を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	目標としていたマイナンバーカードの交付率50%を達成したため、A評価とした。さらなる普及を図るため、これまで取り組んだ不特定多数を対象とした普及促進ではなく、1人ひとりに寄り添ったきめ細やかな対応が必要となるため、未申請者の自宅に訪問するなど積極的に地域に出向く施策に取り組む。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> イベント等におけるマイナンバーカード出張申請 証明書コンビニ交付サービス開始 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード個人宅訪問事業 企業や地域へのマイナンバーカード出張申請 法改正に伴うシステムの改修 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード個人宅訪問事業 戸籍システムのクラウド化 法改正に伴うシステムの改修 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード取得促進

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	21,263	22,088	26,144	16,153	16,153	
財源内訳	国庫支出金	7,702	7,375	6,896	1,857	1,039
	県支出金	925	662	383	662	662
	地方債					
	その他	7,348	6,275	6,392	6,392	6,392
	一般財源	5,288	7,776	12,473	7,242	8,722

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
マイナンバーカード交付率	目標	-	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	85.0%
	実績	21.1%	51.2%				
評価指標設定理由	評価	-	A				
デジタル化を推進するための基幹となるマイナンバーカードの交付率を上げることで、町民の利便性向上や行政運営の効率化を図る。							

No.	8	戦略目標	つなぐ	施策名	広域連携の推進	分類	継続	
実施計画事業名	広域行政推進事業		予算書事業名	広域行政推進事業	関連計画	埼玉県川越都市圏まちづくり協議会レインボープラン	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>周辺市町村との交流を深め、連携強化を図り、積極的に事業を実施することで行政サービスの充実と行政事務の広域所処理を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比企広域市町村圏組合 ・比企地域元気アップ実行委員会 ・埼玉県川越都市圏まちづくり協議会 ・比企市町村推進協議会 	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>令和3年度における広域連携による事業数は目標を達しAである。今後は、川越都市圏まちづくり協議会、比企地域元気アップ実行委員会ともに、社会情勢の変化に伴い組織のあり方の見直しが必要となっている。本町町会圏域の活性化につながる公益性の高い組織となるよう協議を進める。</p>
------	---	-----------------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)	・各種協議会等への参画(負担金)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	2,950	2,977	2,877	2,877	2,877
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	2,950	2,977	2,877	2,877	2,877

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域連携による事業数	目標	-	16事業	17事業	18事業	19事業	20事業
	実績	16事業	16事業				
評価指標設定理由	構成自治体の協働による事業数を指標とすることで、行政サービスの拡充や圏域の活性化を検証する。						
	評価	-	A				

戦略目標3 つくる「未来に輝く稼ぐ地域をつくる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R5	R6	R7
重要1	川島インターチェンジ周辺整備の推進	川島インターチェンジ南側地区開発事業	0	3,500	未定
重要2	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	地方創生推進事業	32,590	46,290	1,000
1	魅力ある土地利用	都市計画総務事業	657	657	657
2	地域特性を活かした農業振興	新規就農総合支援事業	3,029	3,029	1,524
3	活気ある事業活動の推進	商工業振興事業	10,479	10,479	10,479
4	地域資源を活かした観光振興	観光振興事業	1,848	1,848	1,848
5	新たな行政サービスの導入	DX推進事業	9,057	6,942	6,942
6	官民連携の推進	公共施設等総合管理事業	8,084	0	0
年度ごと概算事業計			65,744	72,745	22,450

戦略目標3 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
町内総生産額	目標	-	94,000百万円	98,000百万円	102,000百万円	106,000百万円	107,031百万円
	実績	90,614百万円	集計中				
評価指標設定理由	評価	-					

戦略目標2で掲げる取組の成果を測定するため、「町内総生産額」によって町民や事業者の皆さまが生み出した付加価値を測り、町の稼ぐ力を確認する。

No.	重要1	戦略目標	つくる	施策名	川島インターチェンジ周辺整備の推進	分類	継続
実施計画事業名	川島インターチェンジ南側地区開発事業	予算書事業名	圏央道インターシティプラン推進事業費	関連計画	川島町都市計画マスタープラン	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>インター周辺重点開発地域である川島インターチェンジ南側地区の開発を推進することで、町の産業振興と雇用創出の核となる企業集積の基盤が確保され、地域経済の活性化を図る。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>令和3年度は工業用地の拡大に向け、都市計画法手続き着手のための素案資料を作成し、県関係課と協議を行っているが農林調整に時間を要している。今後は、県及び国との農林調整を早期に完了させ、都市計画法手続きが円滑に着手できるよう、関係機関との調整を着実に実施していく。</p>
------	---	-----------------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進	・川島インターチェンジ南側地区の整備推進

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	5,280	4,800	0	3,500	未定
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	5,280	4,800	0	3,500	未定

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工業用地の拡大面積	目標	-	関係機関との農林調整	関係機関との農林調整	都市計画法手続き着手	都市計画決定告示 約125ha <small>(土地区画整理事業認可)</small>
	実績	約90ha	関係機関との調整(県)			
評価指標設定理由						
産業基盤を整備・拡充することで、地域経済の活性化及び雇用創出が図られる。			B			

No.	重要2	戦略目標	つくる	施策名	地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	分類	継続
実施計画事業名	地方創生推進事業		予算書事業名	地方創生推進事業	関連計画	KJブランド戦略	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	地域の資源を生かした収益事業で稼ぎ、その利益を町に還元する＝「再投資」することで、地域経済の活性化を図る地域商社の活動を支援する。町民や町内事業者の「参加型」の組織を形成することで、地域生産性の向上やシビックプライドを醸成する。KJブランド認証事業に取り組み、特産品等のブランド力の向上を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	地域商社「一般社団法人さまちか」について、当初の予定より設立が遅れ、令和3年度においては、会員数も増やすことができず評価はDである。今後は一定の会員数を確保し、事業の企画立案の幅を広げたい。また、事業収益を拡充した上で法人運営の安定化を図り、自走できる体制を整備する。
------	---	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域商社の設立 地域商社への出資 ECサイトの構築 KJブランド認証 地域おこし協力隊の任命 	<ul style="list-style-type: none"> 地域商社への出資 観光周遊・防災・宿泊事業の調査研究 移動型販売拠点の設置(調査研究) KJブランド戦略の策定 KJブランドの認証 地域おこし協力隊の任命 地域活性化に向けた人材育成 商品開発力の向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域商社への出資 移動型販売拠点の設置 地域事業者販売力向上支援 情報発信ツールの作成 KJブランドの認証 地域おこし協力隊の任命 	<ul style="list-style-type: none"> 地域商社への出資 ビジネスコンテストの実施 プロモーションイベントの実施 プロモーションツールの作成 KJブランドの認証 地域おこし協力隊の任命 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源PR

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	23,625	23,733	32,590	46,290	1,000	
財源内訳	国庫支出金	12,278	8,550	11,000	20,500	
	県支出金		936	7,060	3,526	
	地方債					
	その他					
一般財源	11,347	14,247	14,530	22,264	1,000	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
地域商社会員数(個人・法人)	目標	-	50	100	200	300	400
評価指標設定理由	実績	設立準備	1				
地域商社の会員登録者(団体)数にて測定する。地域商社の会員数を増加させることで、施策の目的である地域資源の総動員による稼ぐ力の向上につなげる。	評価	-	D				

No.	1	戦略目標	つくる	施策名	魅力ある土地利用	分類	継続
実施計画事業名	都市計画総務事業		予算書事業名	都市計画総務事業	関連計画	都市計画マスタープラン	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	町民生活や産業活動などの社会情勢や行財政運営の変化を踏まえ、マスタープランの見直しを行うことで、川島町の「目指すまちの姿」を明確化し、「町民」「事業者」「行政」が共有するとともに、都市計画の決定または変更を行う際の方針とする。	評価の考え方及び今後の対応策	民間、個人の土地利用による、市街化区域内の宅地開発等が進んだことにより宅地化率が向上している。引き続き、民間事業者の開発とともに、都市計画制度を活用し、秩序ある土地利用の促進を図ります。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン改定 都市計画基礎調査 都市計画審議会の運営 都市計画法34条指定区域図等作成 	<ul style="list-style-type: none"> 建築確認概要書スキャンング業務 開発許可等データ更新業務 立地適正化計画策定検討 都市計画審議会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画策定検討 都市計画審議会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画策定検討 都市計画審議会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画策定検討 都市計画審議会の運営

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	14,220	2,714	657	657	657
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,488			
	地方債				
	その他				
一般財源	12,732	2,714	657	657	657

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市街化区域内の宅地化率	目標	-	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%
	実績	92.0%	92.4%				
評価指標設定理由	評価	-	A				
土地利用構想に基づいて進める魅力あるまちづくりの効果を測定するため、市街化区域内の宅地化率の上昇について検証する。							

No.	2	戦略目標	つくる	施策名	地域特性を活かした農業振興	分類	継続	
実施計画事業名	新規就農総合支援事業		予算書事業名	農業者支援事業	関連計画	川島町農業経営基盤の強化に関する基本的な構想	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する交付金を交付する。	評価の考え方 及び 今後の対応策	交付金交付を遅滞なく行うことができ、新規就農者に対し適切支援出来た。 そして、就農者数の目標値も達することが出来た。令和4年度以降も引き続き、適切な営農指導を実施し、農業振興に寄与していく。
------	---	------------------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・新規就農の支援(補助、サポート謝金)	・新規就農の支援(補助、サポート謝金)	・新規就農の支援(補助、サポート謝金)	・新規就農の支援(補助、サポート謝金)	・新規就農の支援(補助、サポート謝金)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	6,770	6,788	3,029	3,029	1,524	
財源内訳	国庫支出金	6,750	6,769	3,010	3,010	1,505
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	20	19	19	19	19	

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認定新規就農者数(累計)	目標	-	12人	13人	14人	14人	14人
	実績	12人	12人				
評価指標設定理由							
新規就農者の確保が、町の農業振興に寄与するため。	評価	-	A				

No.	3	戦略目標	つくる	施策名	活気ある事業活動の推進	分類	継続
実施計画事業名	商工業振興事業		予算書事業名	商工業振興事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町内事業者が円滑に事業活動を展開できるよう商工会が基盤整備や販路開拓、経営相談等の支援を実施し、地元商工業の発展を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	商工会の会員数について、町内外含め539となり、目標を達した。今後は事業の進捗管理と業務改善を商工会と共に進めていく。アフターコロナを見据え、観光分野も民間企業と連携して振興策を練っていく。
------	--	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画) 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会事業の補助 消費者の保護(協議会参画)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	10,479	10,479	10,479	10,479	10,479
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	10,479	10,479	10,479	10,479	10,479

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
商工会会員数	目標	-	515	525	535	545	555
	実績	505	539				
評価指標設定理由							
活性化や事業効果の度合いを会員数で測定する。	評価	-	A				

No.	4	戦略目標	つくる	施策名	地域資源を活かした観光振興	分類	継続
実施計画事業名	観光振興事業		予算書事業名	観光振興事業	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	町内の地域資源を活用した周遊ルート開発や各種イベントにより町の魅力をPRする。	評価の考え方及び今後の対応策	コロナ禍ということもあり、交流人口は伸び悩んでいる。アフターコロナを見据えて商工会や民間事業者と連携して観光振興スキームを策定する。
------	---	----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・観光PRグッズの作成	・観光PRグッズの作成	・観光PRグッズの作成 ・商工会等との連携による観光振興策の立案 ・マスコットキャラクターのPR ・広域観光周遊ルートの形成 ・川と親しみを持つイベントの開催 ・ロケ地を活用した観光事業展開	・観光PRグッズの作成 ・商工会等との連携による観光振興策の立案 ・マスコットキャラクターのPR ・広域観光周遊ルートの形成 ・川と親しみを持つイベントの開催 ・ロケ地を活用した観光事業展開	・観光PRグッズの作成 ・商工会等との連携による観光振興策の立案 ・マスコットキャラクターのPR ・広域観光周遊ルートの形成 ・川と親しみを持つイベントの開催 ・ロケ地を活用した観光事業展開

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	925	2,042	1,848	1,848	1,848
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	925	2,042	1,848	1,848	1,848

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交流人口	目標	-	6,500人	55,000人	60,000人	65,000人	70,000人
	実績	56,177人	5,906人				
評価指標設定理由							
交流人口の増減により測定する。	評価	-	D				

No.	5	戦略目標	つくる	施策名	新たな行政サービスの導入	分類	継続	
実施計画事業名	DX推進事業		予算書事業名	DX推進事業	関連計画	川島町DX推進計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	ICTを活用した新たな行政サービスを導入し、町民の利便性向上や業務改善を図り、新たな価値の創出に取り組む。	評価の考え方及び今後の対応策	令和3年度にDX推進計画を策定した。また、行政事業への新たな技術導入として、AI相談パートナーを導入したので、評価はAである。マイナンバーキャンペーンでは、約2,600人の方がカードの申請を行った。町のDX推進計画で示した内容について、書かない窓口について前倒しで導入に向け進めている。国のDX推進計画に基づいた基幹系システムの標準化及び20業務のガバメントクラウドへの移行については順調に進捗しており、今後各課に作業を依頼していく。
------	---	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> DX推進室設置 DX推進計画の策定 デジタル人材派遣制度活用 マイナンバーカード普及率アップキャンペーン事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ガバメントクラウド先行事業の実施 チャットツール導入及び活用 タブレット端末の整備 デジタル人材派遣制度による派遣 マイナポータル活用推進事業 書かない窓口システム(かんたん窓口システム)導入 	<ul style="list-style-type: none"> システム標準化事業(システム構成設計、移行計画策定)の実施 チャットツール活用 書かない窓口の推進 オンライン手続きの推進 電子決裁の導入 引越しワンストップサービス 	<ul style="list-style-type: none"> システム標準化事業(標準システムへの移行、ガバメントクラウド移行テスト作業)の実施 チャットツール活用 チャットツール活用 書かない窓口の推進 オンライン手続きの推進 引越しワンストップサービス 	<ul style="list-style-type: none"> システム標準化事業(ガバメントクラウド移行)の実施 チャットツール活用 書かない窓口の推進 オンライン手続きの推進 引越しワンストップサービス

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	4,400	13,876	9,057	6,942	6,942
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	4,400	13,876	9,057	6,942	6,942

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
行政事業への新たな技術導入数	目標	-	1	1	2	2	3
	実績	0	1				
評価指標設定理由	評価	-	A				
新たなサービスの提供度を技術導入数により測定する。R7までに3件以上、R12までに10件以上の導入を達成する。							

No.	6	戦略目標	つくる	施策名	官民連携の推進		分類	継続
実施計画事業名	公共施設等総合管理事業		予算書事業名	公共施設等総合管理事業	関連計画		計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	平成の森公園のリニューアルによる地域経済の活性化や関係及び交流人口の拡充を実現するため、周辺施設も含めた長期的な土地利用構想を策定する。策定した構想に基づき、関係機関と横断的にまちづくりを進め、政策間連携や民間活力の導入、町民参画による地方創生を実現する。	評価の考え方及び今後の対応策	PPP/PFI事業検討数は目標を達している。公共施設等総合管理事業については、場当たりの整備とせず、町の将来を見据えた一体的な活用構想をまとめる必要があり、令和4年度に構想を策定しているところである。今後は、政策研究やプロジェクトチームの活用方針を基に、町の意味決定を行い、サウンディング調査やPFIによる整備を進める。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・行政系エリア活用に向けた政策研究の実施	・行政系地域全体構想策定	・サウンディング調査	・PPP/PFI研究	・PPP/PFI研究

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	230	14,000	8,084	0	0
財源内訳	国庫支出金	7,000			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	230	7,000	8,084	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
PPP/PFI事業検討数	目標	-	1件	2件	3件	3件	3件
	実績	1件	1件				
評価指標設定理由	評価	-	A				
PFIの事業検討数で評価する。民間企業の知見や資源を活かした官民連携により効率的・効果的な地域経営につなげる。							

戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」施策別 代表事業実施計画

No.	施策名	代表事業名	概算事業費（千円）		
			R5	R6	R7
重要1	夢を育む新たな学校づくり	学校統合推進事業	94,990	215,331	4,000
重要2	社会を生き抜く人財の育成	学力向上事業	49,602	49,602	49,602
1	新たな生涯学習の推進体制構築	総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	4,560	4,560	2,400
2	生きる力を育む学校教育の推進	学力向上事業（一部再掲）	23,260	23,260	23,260
3	心と体を育む教育環境の整備・充実	学校応援団事業	0	0	0
4	多様な学習機会の充実	地域学校協働活動推進事業（再掲）	2,087	2,087	2,087
5	子育て支援・児童福祉の充実	子育て支援総合センター運営事業（再掲）	29,929	26,446	26,666
年度ごと概算事業計			204,428	321,286	108,015

戦略目標4 評価指標

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各種講座・教室参加者数	目標	-	660人	670人	680人	700人	720人
	実績	651人	452人				
評価指標設定理由	評価	-	D				
戦略目標4で掲げる取組の成果を測定するため、「各種講座・教室参加者数」によって町民の皆さまが自身の能力やスキル等を向上した機会数を測り、活躍する人財の育成効果を確認する。							

No.	重要1	戦略目標	そだてる	施策名	夢を育む新たな学校づくり	分類	継続
実施計画事業名	学校統合推進事業		予算書事業名	小中一貫教育推進事業	関連計画	公共施設個別施設計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	川島町立小学校規模適正計画に基づき、川島町小中一貫教育推進協議会にて、学校、保護者、地域の意見を取り入れながら、小中一貫教育実現を進め、令和7年度に川島町小中一貫教育校を開校する。	評価の考え方及び今後の対応策	小中一貫教育推進協議会専門部会の意見交換会、施設一体型小中一貫教育校の視察を行い、令和3年度に「川島町の小中一貫教育校の開校に向けて(まとめ)」を作成することができた。今後も、専門部会との協議や先進校視察を重ねていく中で、子どもたちのためになる小中一貫教育校の開校に向けて準備を進めていく。
------	--	----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・小中一貫教育の検討会議及び研究	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・専門部署の設置	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・川島中学校(小中一貫教育校)校舎改修 ・低学年棟設計 ・中学校校舎改造設計 ・小学校統合協議会の設置	・小中一貫教育の検討会議及び研究 ・低学年棟建築 ・中学校校舎改造工事 ・小学校統合協議会等の運営	・小中一貫教育校開校 ・小中一貫教育校開校後の検討会議、研究及び検証

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	43	3,968	126,100	372,831	4,000
財源内訳	国庫支出金		31,110	157,500	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	43	3,968	94,990	215,331

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小中一貫教育校計画の推進	目標	-	推進協議会による検討、視察	専門部署の設置	既存校舎の改修	校舎増築工事	事業計画決定
	実績	検討開始	協議・研究				
評価指標設定理由							
本施策の効果を測定するため、小中一貫教育校計画の進捗状況を確認することで、子どもたちにとって適正規模の学校づくりの進捗を検証する。前期基本計画の計画期間では、※つばさ南・北小学校、川島中学校を対象に検討を進める。			A				

No.	重要2-1	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人財の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業		予算書事業名	学力向上推進事業(小学校)	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。また、学力向上を目指した啓発文書を児童生徒の保護者に配布するとともに、家庭学習ノートを作成し、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。</p> <p>GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、ドリル教材等の活用により学力向上を図る。また、全ての学力の基本となる日本語力の向上を目的に、令和元年度から小学校5年生、6年生を対象に日本語検定受験推進事業を実施している。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>令和3年度も児童の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、川島町の児童の学習状況の傾向を精査し、必要な教育を実施した。日本語検定受験推進事業(令和元年度から実施)を継続し、全ての科目において、問題の読解力を高めた。また、学習用端末の導入に伴い、AIDリル教材、授業支援ソフトを活用した。その結果、学力テストの平均点以上の教科を増やし、学力向上に繋げることができた。</p> <p>引き続き、テストの分析、学習用端末の活用も含めた中で、さらなる学力向上に繋げられるよう学校とも連携し、事業を進めていく。</p>
------	---	-----------------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 家庭学習ノートの配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 家庭学習ノートの配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 家庭学習ノートの配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 家庭学習ノートの配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 家庭学習ノートの配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	14,108	25,586	26,342	26,342	26,342
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	14,108	25,586	26,342	26,342	26,342

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
埼玉県学力・学習状況調査全学年・全科目平均点以上教科数(4年生、5年生、6年生:2教科) ※重要施策2-2と合算値	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科
	実績	3/14教科	5/14教科			
評価指標設定理由						
全て児童が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人財を育成する			A			

No.	重要2-2	戦略目標	そだてる	施策名	社会を生き抜く人財の育成	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業		予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。</p> <p>また、学力向上を目指した啓発文書を生徒の保護者に配布するとともに、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。</p> <p>GIGAスクール構想による学習用端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、AIDリル教材等の活用により学力向上を図る。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>令和3年度も生徒の学力向上のために、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査を分析し、川島町の生徒の学習状況の傾向を精査し、必要な教育を実施した。学習用端末の導入に伴い、AIDリル教材、授業支援ソフトを活用した。また、英語検定受験推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において、活躍できる英語力を全ての生徒に身につけさせることを図った。その結果、学力テストの平均点以上の教科を増やし、学力向上に繋げることができた。</p> <p>引き続き、テストの分析、学習用端末の活用も含めた中で、さらなる学力向上に繋げられるよう学校とも連携し、事業を進めていく。</p>
------	---	-----------------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIDリル教材の学校及び家庭での活用

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	19,705	22,823	23,260	23,260	23,260
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	19,705	22,823	23,260	23,260	23,260

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
埼玉県学力・学習状況調査全学年・全教科平均点以上教科数(1年生:2教科、2、3年生:3教科) ※重要施策2-1と合算値	目標	-	4/14教科	5/14教科	6/14教科	7/14教科
	実績	3/14教科	5/14教科			
評価指標設定理由 全て生徒が、高い学力を身につけることで、社会を生き抜く人財を育成する	評価	-	A			

No.	1	戦略目標	そだてる	施策名	新たな生涯学習の推進体制構築	分類	継続
実施計画事業名	総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	予算書事業名	スポーツ振興事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	誰でも自由に気軽にいつまでもスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの事業を支援する。	評価の考え方及び今後の対応策	立ち上げから数年は事務所の整備や活動に必要な物品購入などハード面での投資が必要であり、赤字運営にならないよう財政的な支援が必要である。令和3年度は、totalによる助成金の申請支援を行い運営を安定化することにつながった。ただし、助成対象経費が限定的であるため、町単独で財政的な支援を行う必要がある。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)	・クラブ運営に支援(補助)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	3,369	4,560	4,560	4,560	2,400
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,643	4,104	4,104	4,104
一般財源	726	456	456	456	2,400

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合型地域スポーツクラブ会員数	目標	-	140人	150人	160人	170人	180人
	実績	116人	152人				
評価指標設定理由							
総合型地域スポーツクラブが会費収入により自主運営することを目指す。毎年10人ずつ増やし、R7に会員数180人を達成する。	評価	-	A				

No.	2	戦略目標	そだてる	施策名	生きる力を育む学校教育の推進	分類	継続
実施計画事業名	学力向上事業(一部再掲)		予算書事業名	学力向上推進事業(中学校)	関連計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	<p>学力向上を図るため、小中学校長を構成員とする学力向上推進委員会を設置し、県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析、川島独自の一斉テストの実施・分析を行い、学習指導の改善策を検討する。</p> <p>また、学力向上を目指した啓発文書を生徒の保護者に配布するとともに、学校と家庭との連携を図りながら、教員による細やかな指導を実施する。</p> <p>GIGAスクール構想による学習用端末の導入に伴い、家庭への持ち帰りを実現し、AIドリル教材等の活用により学力向上を図る。</p>	<p>評価の考え方及び今後の対応策</p>	<p>生徒の学力向上のために、学習用端末の導入に伴い、AIドリル教材、授業支援ソフトを活用した。また、英語検定受験推進事業(平成29年度から実施)を継続し、グローバル社会において、活躍できる英語力を全ての生徒に身につけさせることを図り、英語検定受験対策として私塾と連携し、ガイダンスも実施したが、目標値を上回ることができなかった。</p> <p>学習用端末のさらなる活用も含めた中で、英語の学力向上に繋げられるよう学校、私塾とも連携し、英語検定取得率の向上にむけて事業を進めていく。</p>
------	---	-----------------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 学習用端末及びAIドリル教材の学校及び家庭での活用 学習用端末を活用した英検対策 ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 啓発文書の保護者への配布 学習用端末及びAIドリル教材の学校及び家庭での活用 学習用端末を活用した英検対策 ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIドリル教材の学校及び家庭での活用 学習用端末を活用した英検対策 ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIドリル教材の学校及び家庭での活用 学習用端末を活用した英検対策 ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県学力学習状況調査・全国学力学習状況調査、川島独自の一斉テストの実施・分析 学習用端末及びAIドリル教材の学校及び家庭での活用 学習用端末を活用した英検対策 ALT、私塾と連携した英検対策講座の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	19,705	22,823	23,260	23,260	23,260
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	19,705	22,823	23,260	23,260	23,260

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
中学校2、3年生英検4級以上取得率	目標	-	50.0%	53.0%	55.0%	57.0%	60.0%
	実績	46.1%	39.3%				
評価指標設定理由							
グローバル社会において活躍できる人材育成を目指し、全生徒の英検取得率の向上を図る。	評価	-	D				

No.	3	戦略目標	そだてる	施策名	心と体を育む教育環境の整備・充実	分類	継続
実施計画事業名	学校応援団事業		予算書事業名	学校教育事業		関連計画	計画期間 R5 ~ 継続 年度

事業目的	ボランティアの協力をいただき、教育環境の整備・充実を推進し、児童・生徒に対し、教育における切れ目のない支援を図る。	評価の考え方及び今後の対応策	新型コロナウイルス感染症の影響で、学校応援団事業活動が制限されてしまった。そのため、各学校で登録者数が伸び悩んでいる、登録者がいない状況より評価も低くなってしまった。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況も注視しつつ、広報紙やかわべえメールを活用して制度の周知を図り、また、学校とも連携し、意欲ある方の登録を募って登録者数を増やしていきたい。
------	---	----------------	---

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報	・学校応援団の支援、周知広報

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0	0	0	0	0

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学校応援団登録者数	目標	-	360人	365人	370人	380人	390人
	実績	355人	340人				
評価指標設定理由	評価	-	D				
学校応援団の登録者数を測り、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる環境を整備する。							

No.	4	戦略目標	そだてる	施策名	多様な学習機会の充実	分類	継続
実施計画事業名	地域学校協働活動推進事業(再掲)	予算書事業名	地域学校協働活動推進事業	関連計画	川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	地域と学校がお互いに協力して、子どもを中心に大人もまなび・活動できる「みんなの居場所(ひろば活動)」をつくることで、地域全体で子どもを育てるとともに、地域をげんきにするための国庫補助事業。	評価の考え方及び今後の対応策	地域学校協働活動推進員のネットワークを利用することで、新たな人材を獲得し目標を達成できた。今後の実践を通じながら人材の獲得を継続して一層の事業の推進を図りたい。
------	--	----------------	--

各年度の事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる活動の支援 ・地域の団体や人材の発掘 ・講座や活動の実施

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,075	2,087	2,087	2,087	2,087
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	716	1,258	1,258	1,258
	地方債				
	その他				
一般財源	359	829	829	829	829

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標		基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各種事業を実施することができる人材の数	目標	-	16人	16人	17人	17人	18人
	実績	15人	19人				
評価指標設定理由							
事業目的を達成するには、魅力的な事業を企画・運営できる人材が必要不可欠であるため	評価	-	A				

No.	5	戦略目標	そだてる	施策名	子育て支援・児童福祉の充実	分類	継続	
実施計画事業名	子育て支援総合センター運営事業(再掲)		予算書事業名	子育て支援総合センター運営事業	関連計画	川島町子ども・子育て支援事業計画	計画期間	R5 ~ 継続 年度

事業目的	安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる施設(子育て支援総合センター「かわみんハウス」)として運営する。 町内在住者が利用しやすい施設を目指す。	評価の考え方 及び 今後の対応策	来館者数は、年々増加しているが、町内在住者の利用割合が減っている。 魅力ある事業を展開し、町内在住者にとって、利用しやすい施設を目指す。 令和3年度においては、目標来館者数を越えたため、A評価としている。
------	--	------------------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
各年度の事業概要	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)	・川島町子育て支援総合センターの管理運営(施設管理、事業企画及び運営)

年度 (単位:千円)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (当初予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	25,225	27,203	29,929	26,446	26,666	
財源内訳	国庫支出金	2,991	2,991	2,991	2,991	2,991
	県支出金	2,991	2,991	2,991	2,991	2,991
	地方債					
	その他	114	119	119	119	119
	一般財源	19,129	21,102	23,828	20,345	20,565

総合振興計画進行管理・事業評価

評価指標	基準	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
子育て支援センター来館者数(町内在住者)	目標	-	3,800人	4,400人	5,100人	5,800人	7,000人
	実績	3,129人	3,830人				
評価指標設定理由							
町内在住者にとって、利用しやすい事業・施設を目指す。	評価	-	A				